

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2016年3月16日

台風リスクを証券化「Akibare Re 2016-1」を発行

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）は、国内の台風リスクを対象とするキャットボンド（大災害債券）「Akibare Re 2016-1」を発行しました。

国内の台風を対象とするキャットボンドとしては損保業界で初めて、単一の台風による損害に加えて、同一年度における複数の台風による累計損害額が巨額となった場合も対象とする仕組みとしており、当社の保険引受リスクを効果的に削減します。

当社では、今後も再保険やリスクの証券化を活用し、経営健全性の向上に努めていきます。

1. キャットボンドの概要

当社は、英領バミューダに設立した特別目的会社「Akibare Re Ltd.」を通じて、機関投資家にキャットボンド「Akibare Re 2016-1」を発行しました。日本国内で発生した台風による当社の損害を年度単位で累計し、累計損害額があらかじめ定めた金額を超過した場合に、その超過額に応じて投資家へ償還予定の元本の一部または全部を減額して当社への支払いに充当する仕組みです。

【Akibare Re 2016-1 の概要】

発行体	Akibare Re Ltd.
発行時期	2016年3月
満期	2020年4月（期間4年）
対象リスク	日本国内台風リスク
発行金額	200百万米ドル（約227億円※）
利回り	担保債券の利回り+250bps

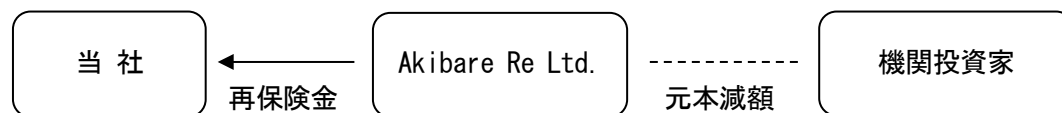
※1ドル=113.62円による換算値

【仕組み】

<発行時点>



<対象災害の発生時>



2. キャットボンド発行のねらい・背景

当社では、大規模な自然災害が発生してもお客さまの保険ニーズに安定的に応えられるよう、再保険を活用して保有リスク量を削減し、経営健全性の維持に努めています。

今回の「Akibare Re 2016-1」は、資本市場を通じて台風による損害を回収するもので、再保険市場で調達しているカバーの一部を補完するとともに、4年間の長期安定的なカバーを実現しています。また、本キャットボンドは単一または複数の台風による損害額が巨額となる年度に資金を受け取ることができるため、当社の経営健全性の向上と収益の安定に寄与します。

以上